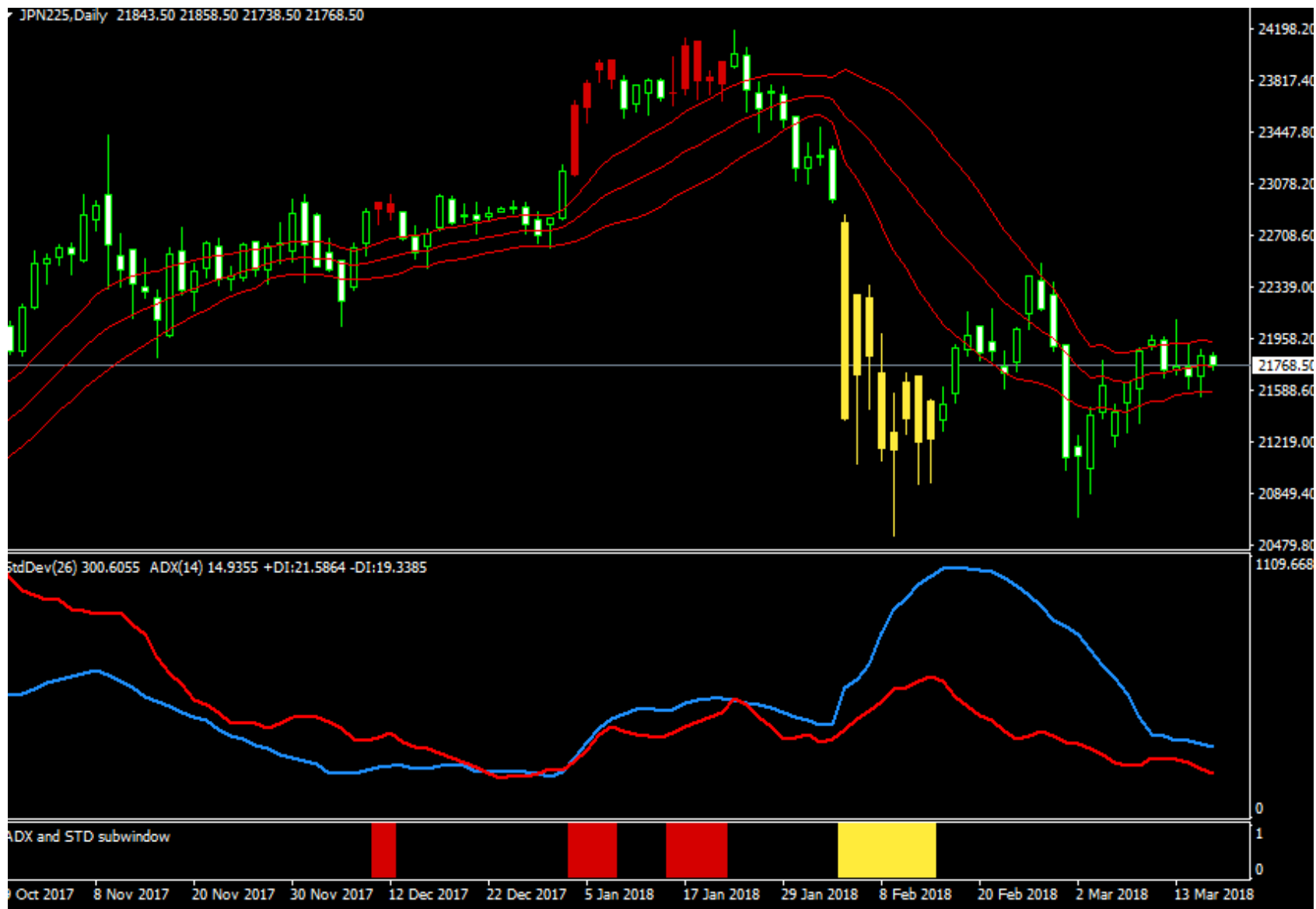
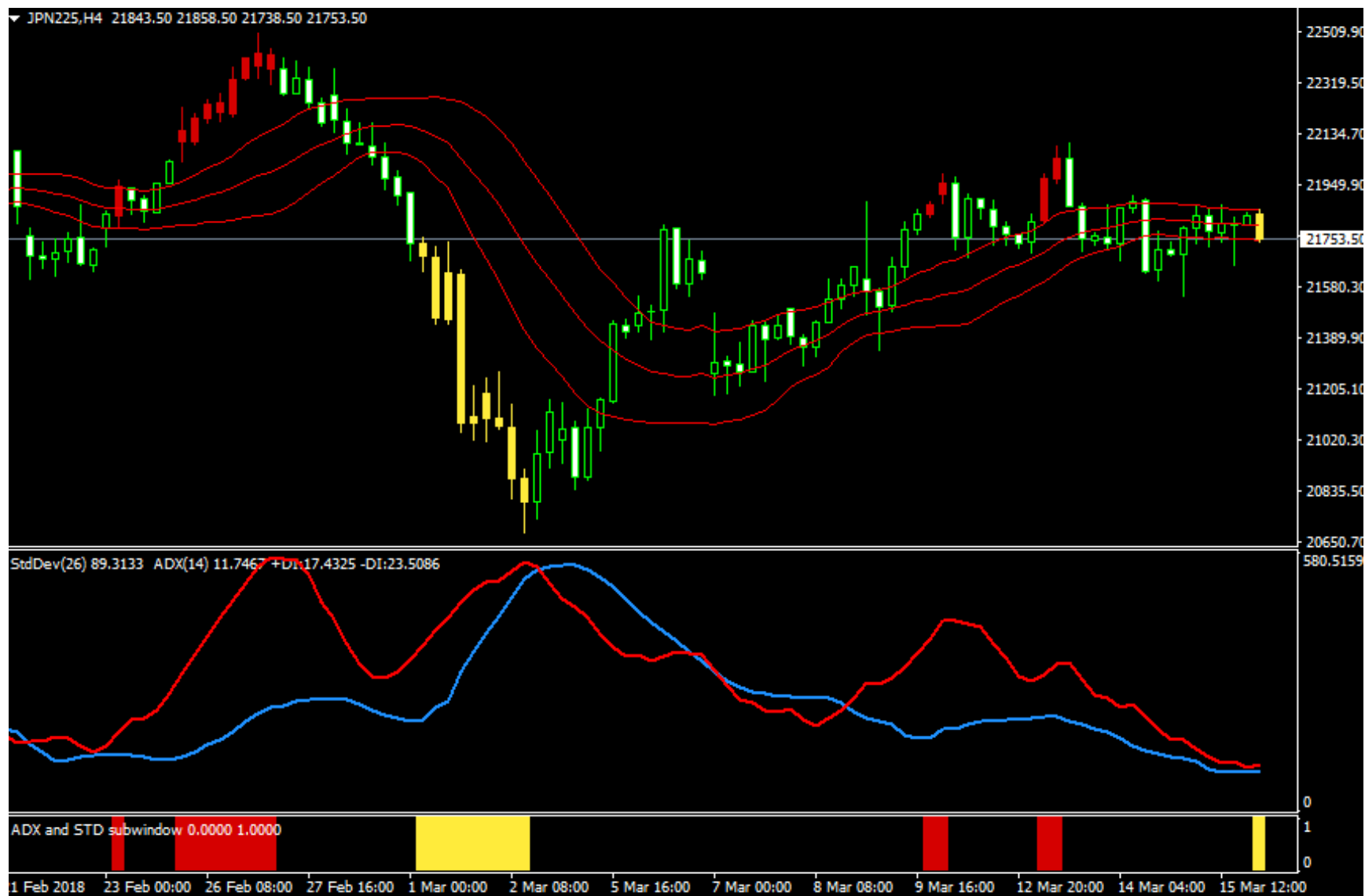


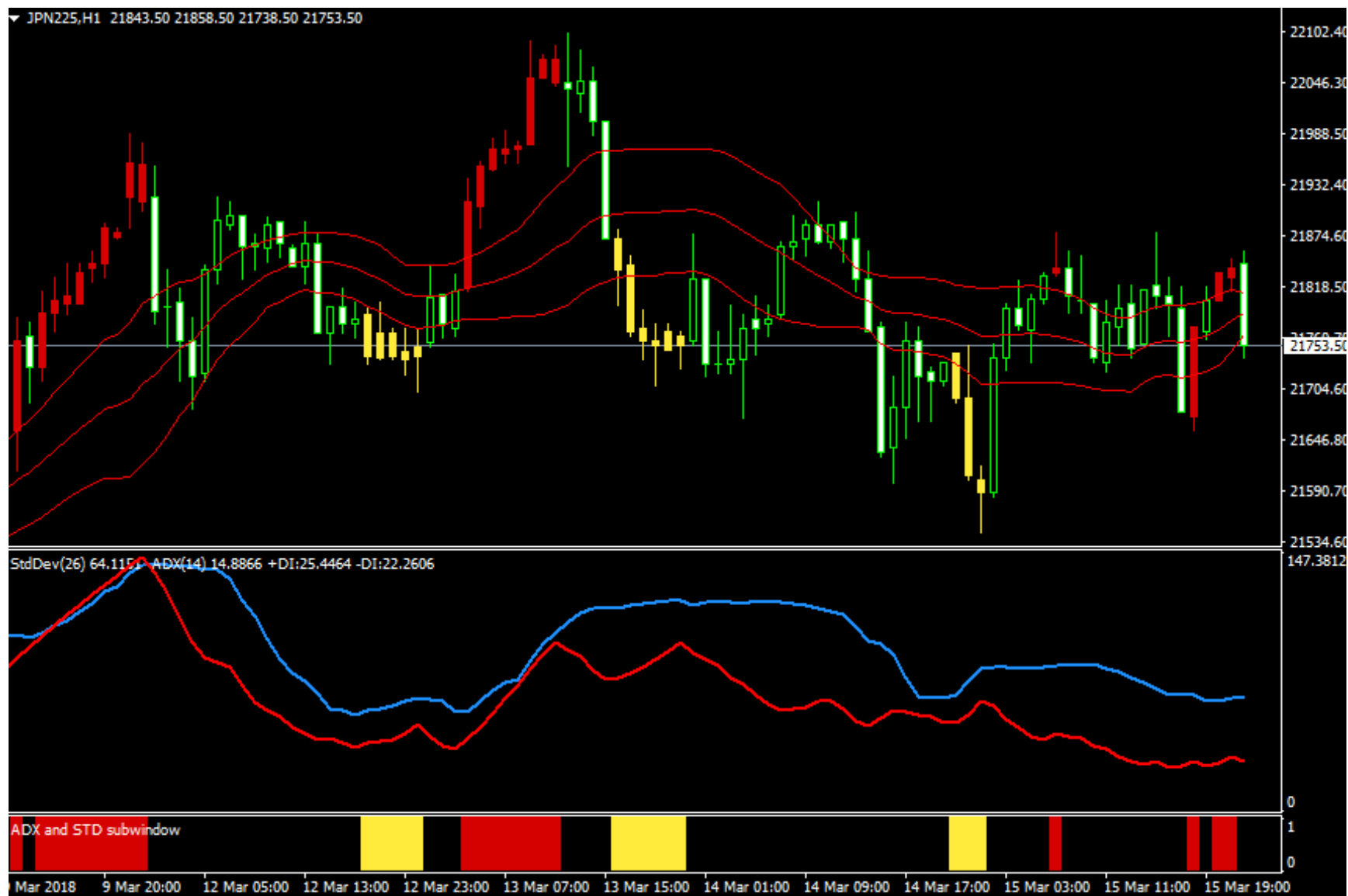
日経平均CFD（日足） 標準偏差ボラティリティトレードモデル



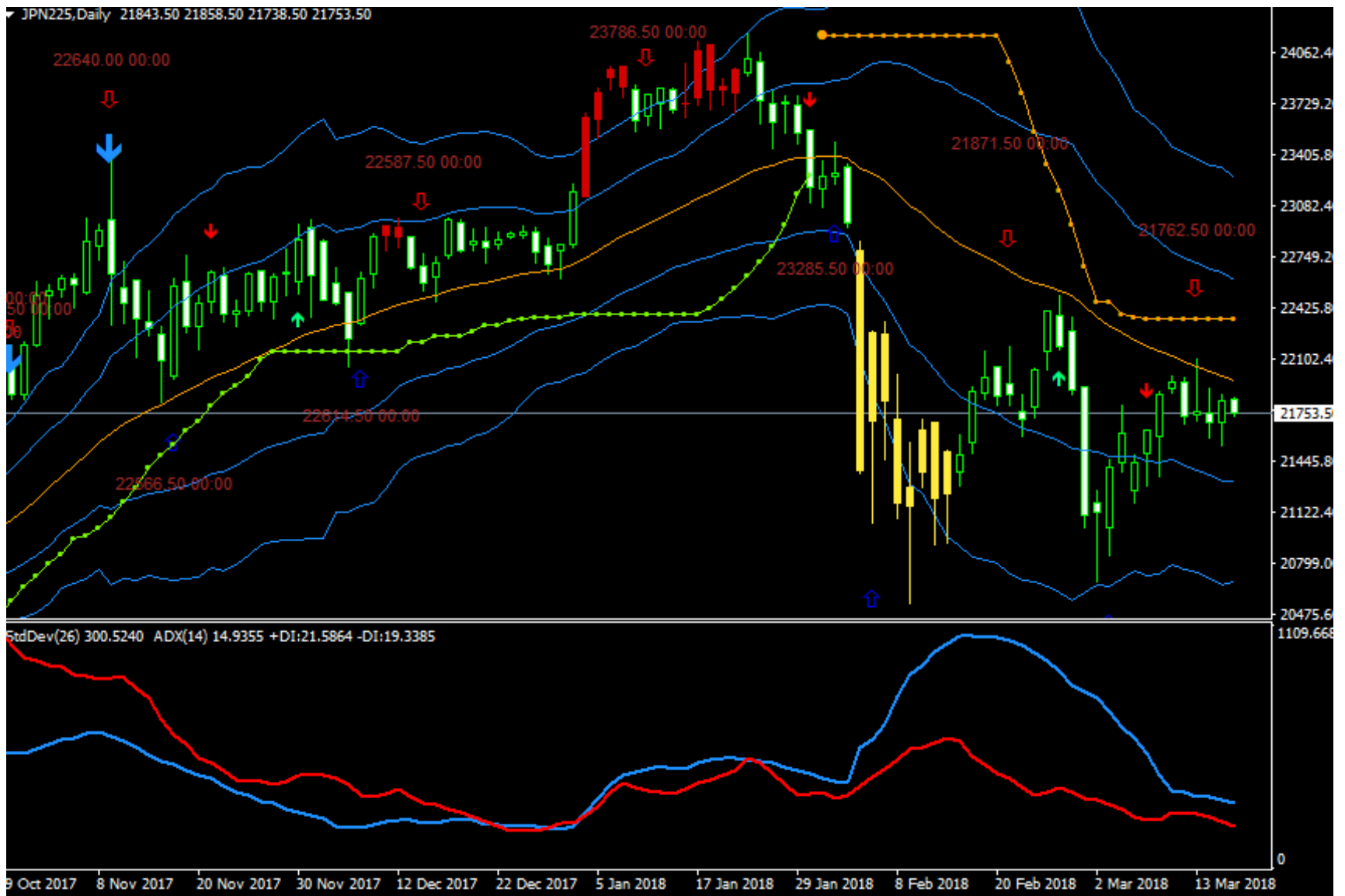
日経平均CFD（4時間足） 標準偏差ボラティリティトレードモデル



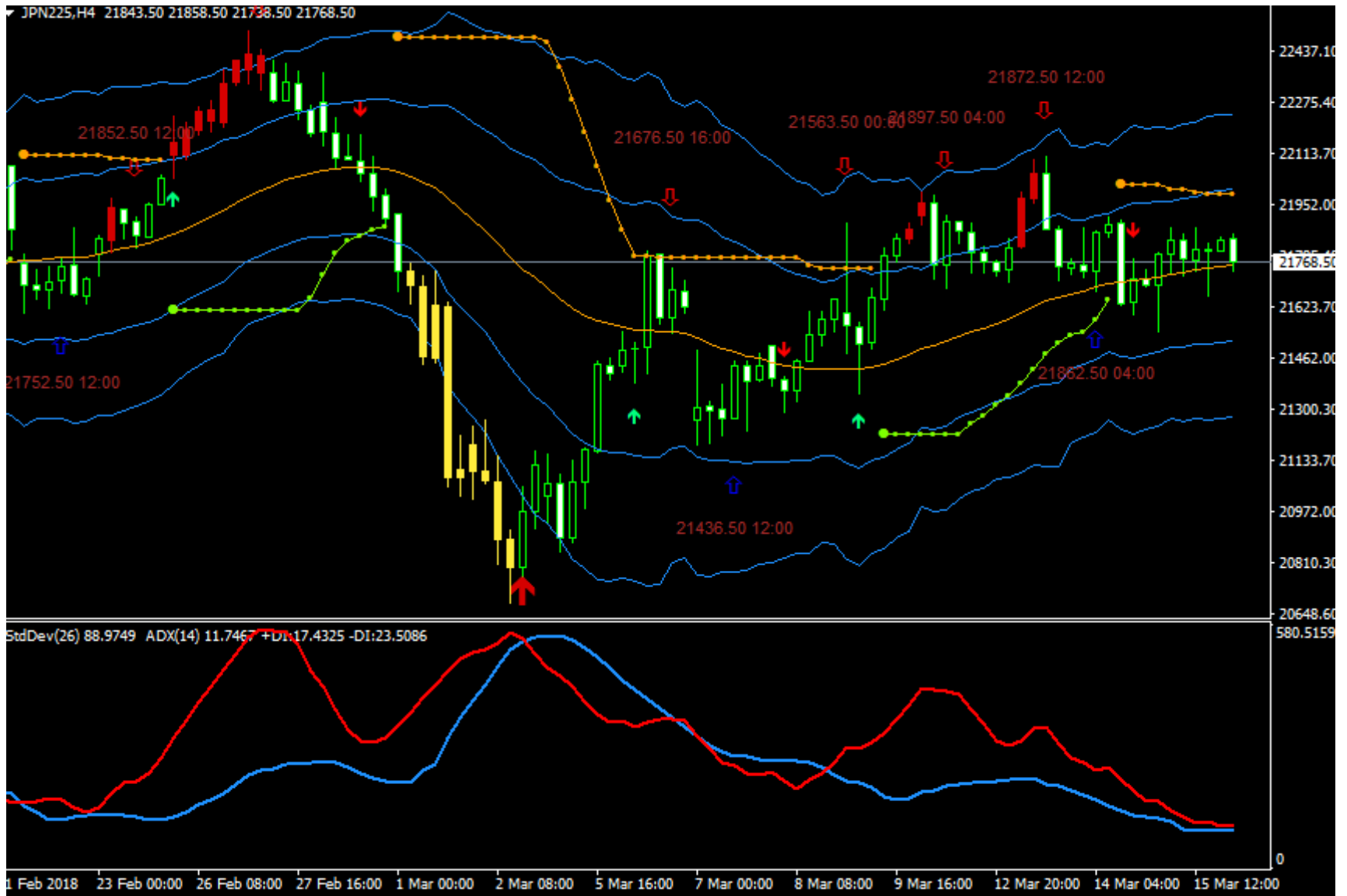
日経平均CFD（1時間足） 標準偏差ボラティリティトレードモデル



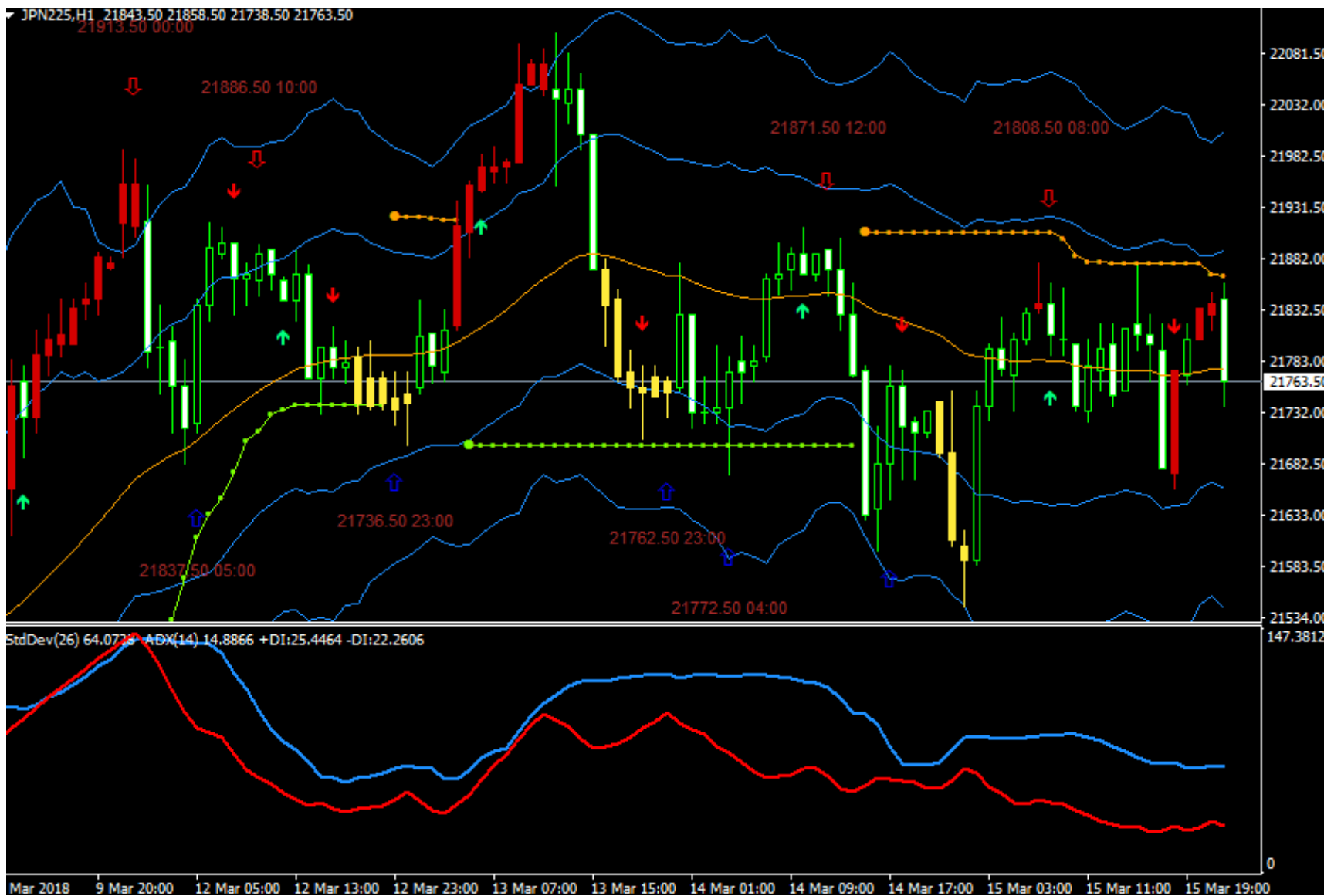
日経平均CFD（日足） ATRチャンネルトレードモデル



日経平均 CFD (4時間足) ATRチャンネルトレードモデル



日経平均CFD（1時間足） ATRチャンネルトレードモデル



マークファーバー博士の月刊レポート2018年3月号
The Gloom, Boom & Doom Report
「危機の到来は遅くとも、その遅れはその強さで補われる」

結局のところ、2010年4～7月、2011年5～12月、2015年5月～2016年2月の急激な（しかし短命な）下落はすべて、上昇トレンドの修正にすぎなかった。

しかし、さまざまなテクニカル指標、極めて強気な感情指標、個人・機関投資家の低い現金比率、証拠金債務、個人投資家の株式への殺到、過剰な株式評価などに注目すると、大天井を付ける条件は完全にそろっている（2018年2月号に掲載したケビン・ダフィの記事も参照してほしい）。

したがって、今のところは2018年1月26日にS&P500が付けた高値2872を大天井とみる。これは2009年3月6日に付けた安値666を当時、大底と考えたのと同様だ（図18）。

出所：マーク・ファーバー博士の月刊マーケットレポート12月号・国内代理店パントリーの掲載許可をとって掲載



S & P 500 (週足)

図 18 S&P500 (週足、2009—18)



出所 : Ron Griess, www.thechartstore.com

出所 : マーク・ファーバー博士の月刊マーケットレポート12月号・国内代理店パンローリングの掲載許可をとって掲載

トランプは株が下がればQEを再開させる？

図 15 景気後退状況のFRB資産



出所：Ed Yardeni, www.yardeni.com

出所：マーク・ファーバー博士の月刊マーケットレポート12月号・国内代理店パンローリングの掲載許可をとって掲載

EUR/JPY 週足チャート+26週BB+スローストキャスティクス

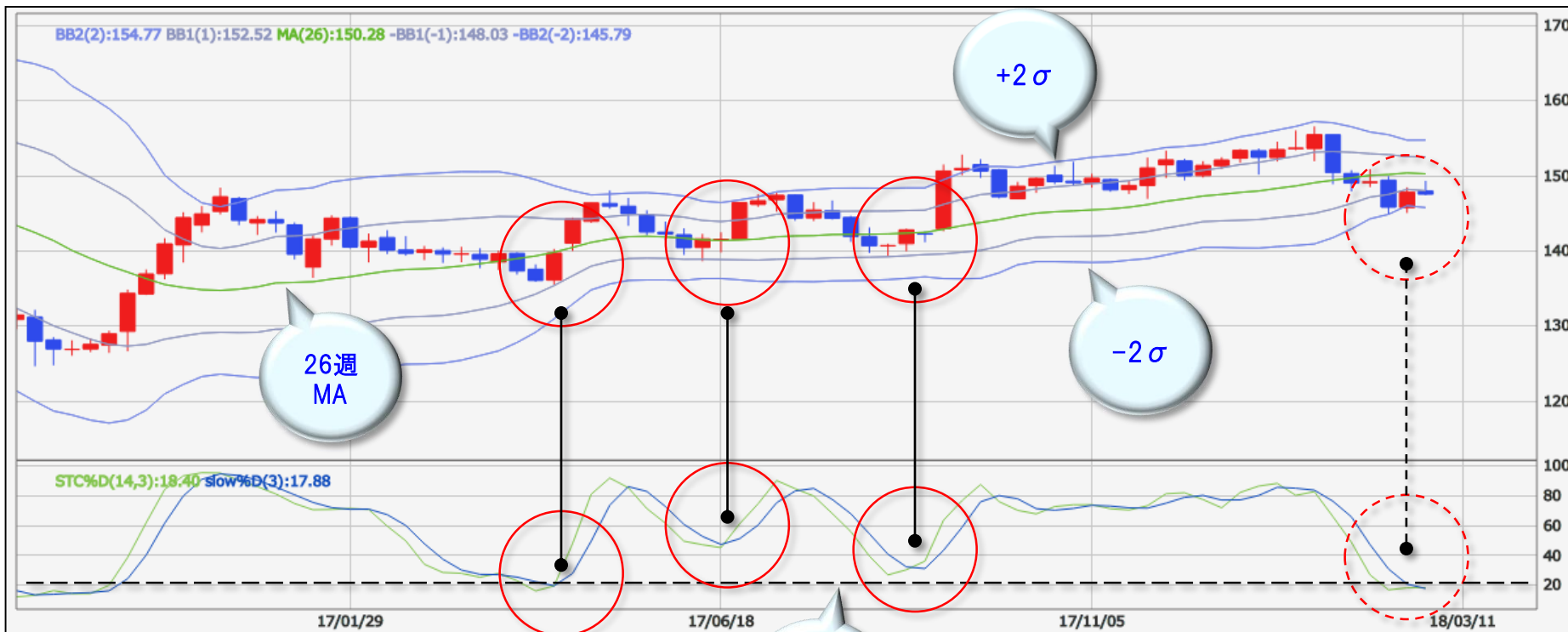


出所:M2JFXチャート

20%
ライン

期間:2016/9/25の週~2018/3/11の週

GBP/JPY 週足チャート+26週BB+スローストキャスティクス



出所:M2JFXチャート

期間:2016/9/25の週~2018/3/11の週

AUD/JPY 週足チャート+26週BB+スローストキャスティクス



出所:M2JFXチャート

期間:2016/9/25の週~2018/3/11の週

NZD/JPY 週足チャート+26週BB+スローストキャスティクス



出所:M2JFXチャート

期間:2016/9/25の週~2018/3/11の週